食品・飼料・環境検査キット ＜きっとセーフ＞ シリーズ

RIDA スクリーン　高感度マイコトキシン シリーズ

かび毒の高感度定量検査キット

かび毒（マイコトキシン）のスクリーニング定性検査および定量を目的とするEIA（酵素免疫測定）法キットです。FAST シリーズほど迅速ではありませんが、約1～3時間の簡単な操作で、感度は機器分析と同等かそれ以上となります。高額な機器設備や熟練者も必要ありません。
また、豊富な経験と研究に基づき、さまざまな試料に応じた効率的な前処理法が開発され、最近ではイムノアフィニティカラムとの併用により、香辛料やナッツ類、飼料類、ベビーフードなどの分析にも使用されつつあり、アプリケーションが広がっています。
r-Biopharm 社は、そのキットの高い精度・再現性が評価され、欧州随一の食品衛生検査キットメーカーとして有名です。**アフラトキシントータルは厚生労働省通知「トウモロコシ中アフラトキシン試験法」に適合。**

<table>
<tr><td rowspan="5">品名
コードNo.
価格・仕様</td><td colspan="3">RIDA スクリーン 高感度かび毒シリーズ （製造：r-Biopharm 社）</td></tr>
<tr><td>アフラトキシン B1 (4115P)
96 ウェル 78,000 円</td><td colspan="2">アフラトキシントータル (4161P)
96 ウェル 78,000 円</td></tr>
<tr><td>アフラトキシン M1 (4119P)
96 ウェル 78,000 円</td><td colspan="2">オクラトキシン A 30/15 (4121P)
96 ウェル 78,000 円</td></tr>
<tr><td>DON（デオキシニバレノール） (4332P)
96 ウェル 78,000 円</td><td colspan="2">フモニシン (4341P)
96 ウェル 78,000 円</td></tr>
<tr><td>ゼアラレノン (4312P)
96 ウェル 78,000 円</td><td>T-2 トキシン (4322P)
96 ウェル 78,000 円</td><td></td></tr>
<tr><td>キット内容</td><td colspan="3">抗体固着マイクロプレート（8連×12 本=96 ウェル）
標準液5濃度、酵素複合体液、基質液、発色液、反応停止液
（キットにより多少異なります。アフラトキシン B1、アフラトキシントータル、DON、フモニシン、T2 トキシンでは、マイクロプレートウェルに二次抗体を固着しており、一次抗体は液状試薬として同梱されます。）
（下記標準液濃度は各アッセイ液中の実際濃度に換算しました。下記*印キットではラベル表示とは異なります）
（下記感度は試料中の実際濃度です。）</td></tr>
<tr><td>目的・用途</td><td colspan="3">穀類、飼料、香辛料、ナッツ、食品中における各種かび毒の定量分析ないしはスクリーニング
（試料の種類によって、感度や前処理が異なったり試験不可能な場合もあります。）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">原理と
検出限界</td><td colspan="3">マイクロプレート式 ELISA 法（競合法）
（アフラトキシン B1、アフラトキシントータル、DON、フモニシン、T2 トキシンは二重抗体式）</td></tr>
<tr><td colspan="2">アフラトキシンB1（二重抗体競合法）</td><td>アフラトキシントータル（二重抗体競合法）</td></tr>
<tr><td colspan="2">感度　1.0ppb
標準液*　0.1、0.5、1.0、2.0、5.0ppb
回収率　約 80-100%（穀類 飼料）
交差反応　Aflatoxin B1 100.0%
Aflatoxin B2 13%
Aflatoxin G1 29%
Aflatoxin G2 3.2%
Aflatoxin M1 1.5%
試料調製　穀類飼料：破砕、振とう抽出、ろ過
そのほか試料により、イムノアフィニティカラムやガラス繊維ろ紙等の利用も可</td><td>感度　1.75ppb
標準液　0.05、0.15、0.45、1.35、4.05ppb
回収率　約 85%（穀類）
交差反応　Aflatoxin B1 100%
Aflatoxin B2 48%
Aflatoxin G1 75%
Aflatoxin G2 18%
試料調製　穀類飼料：破砕、振とう抽出、ろ過
そのほか試料により、イムノアフィニティカラムやガラス繊維ろ紙等の利用も可</td></tr>
</table>

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。　必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。　なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アヅマックス株式会社　http://www.azmax.co.jp/　E-mail:sales@azmax.co.jp
東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312

食品・飼料・環境検査キット ＜きっとセーフ＞ シリーズ

	アフラトキシンM1	**オクラトキシンA 30/15（4121P）**
	感度　5ppt （チーズ 50ppt） 標準液　5、10、20、40、80ppt 回収率　約 95%（牛乳）約 102%（チーズ） 交差反応　Aflatoxin M1 100% Aflatoxin M2 30% 試料調製　脱脂（遠心分離） チーズは別途 **そのほか試料により、イムノアフィニティカラムの利用も可**	感度　1.25～2.5ppb（ビールブタ血清 25ppt） 標準液　50、100、300、900、1,800ppt 回収率　約 100%（穀類飼料）（ビール） 交差反応　Ochratoxin A 100.0% Ochratoxin C 44% Ochratoxin B 14% Ochratoxin α　<0.1% 試料調製　穀類飼料：抽出/遠心分離、抽出/遠心分離、 ビール等は別途 **そのほか試料により、イムノアフィニティカラムの利用も可**
	DON（デオキシニバレノール）（二重抗体競合法）	**フモニシン（二重抗体競合法）**
	感度　3.7ppb(Beer)、18.5ppb（穀類飼料） 標準液　3.7、11.1、33.3、100ppb 回収率　約 85-110%（Beer、穀類飼料） 交差反応　Deoxynivalenol 100% 3-Acetyldeoxynivalenol >100% 15-Acetyldeoxynivalenol 約 19% Nivalenol 約 4% T-2-toxin <1% Fusarenon X <1% 試料調製　穀類飼料：粉砕、抽出、ろ過 ビール：炭酸除去 麦汁：そのまま **そのほか試料により、イムノアフィニティカラムの利用も可**	感度　25ppb 標準液*　約 0.36、1.06、3.17、9.5、28.5ppb 回収率　約 60%（コーン） 交差反応　Fumonisin B1 100% Fumonisin B2 約 40% Fumonisin B3 約 100% 試料調製　破砕、抽出、ろ過 **そのほか試料により、イムノアフィニティカラムの利用も可**
	ゼアラレノン	**T-2 トキシン（二重抗体競合法）**
	感度　1,750ppt（ビール 250ppt） 標準液　50、150、450、1,350、4,050ppt 回収率　約 80%（穀類 飼料） 交差反応　Zearalenon 100% a-Zearalenol 41.6% Zeranol(Zearalanol) 27.7% b-Zearalenol 13.8% 試料調製　穀類飼料：抽出、ろ過 ビール：炭酸除去、希釈 **そのほか試料により、イムノアフィニティカラムの利用も可**	感度　3.5ppb 標準液　0.1、0.2、0.4、0.8、1.6ppb 回収率　約 90% 交差反応　T-2 Toxin 100% Acetyl T-2 Toxin 114% HT-2 Toxin 7% Iso T-2 Toxin 2% 試料調製　破砕、抽出、ろ過

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。　必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。　なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アヅマックス株式会社　http://www.azmax.co.jp/　E-mail:sales@azmax.co.jp
東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312

食品・飼料・環境検査キット ＜きっとセーフ＞ シリーズ

所要時間 **保存条件**	キット操作 （インキュベーション時間） アフラトキシン B1、DON、フモニシン、アフラトキシントータル、＝約 45 分 アフラトキシン M1、オクラトキシン A＝約 60 分 T-2 トキシン＝約 90 分、ゼアラレノン＝2時間 30 分 （そのほかに試料調製時間 但し検体数による） 2～8℃
操作	キットにより異なります。また、予告なく仕様変更される場合があります。必ずキット取扱説明書でご確認下さい。以下は参考例です。 （アフラトキシン B1 の場合） ①各ウェルに試料（あるいは標準）、酵素複合体液、抗体液を順次 50μ L ずつ滴下し振とう。 ②　　室温で 30 分間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、蒸留水で3度洗浄。 ③各ウェルに基質発色源液を 50μ L 滴下して振とうする。 ④　　室温で 15 分間インキュベート。 ⑤各ウェルに反応停止液を 100μ L 滴下して振とうする。 ⑥吸光度を測定する。 標準液ウェルの吸光度から検量線をとり、試料の濃度を換算定量する。 （アフラトキシントータルの場合） ①各ウェルに試料（あるいは標準）、酵素複合体液、抗体液を順次 50μ L ずつ滴下し振とう。 ②　　室温で 30 分間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、蒸留水で3度洗浄。 ③各ウェルに、発色基質を 100μ L ずつ滴下して振とうする。 ④　　室温で 15 分間インキュベート。 ⑤各ウェルに反応停止液を 100μ L 滴下して振とうする。 ⑥吸光度を測定する。 標準液ウェルの吸光度から検量線をとり、試料の濃度を換算定量する。
その他必要機器 試薬	マイクロプレート（ストリップ）用フォトメーター（450nm）、マイクロピペット、遠心分離機、ロータリーエバポレーター、スターラー、ろ過ガラス器具、破砕器具（ミルブレンダー）、振とう器（あるいはブレンダー、バッグミキサー）など メタノール、蒸留水ほか試料の抽出方法により異なります

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。　必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。　なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アヅマックス株式会社　http://www.azmax.co.jp/　E-mail:sales@azmax.co.jp
東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312